

東芝深谷

[第5号]

OB会会報

OB会事務局
048(574)2014

第九回総会について

会長 渋谷昇

七月十七日深谷工場に於いて、第九回の総会が開催されました。

お暑い中、遠路ご多忙中にもかかわらず顧問及び参与の皆様十一名と会員一九四名の参加をもって、事務局のご協力により、総会、懇談会、お祭りへの参加等盛大に実施出来ましたことを役員一同感謝致しております。

お祭りへの参加の一環として、各同好会持廻りによるガラクタ市とビンゴゲームなども盛り上がりを見せこれらの催しも定着して来ました。

担当の会員も生き生きとして、現役時代を思わせる様な活躍ぶりでありました。

さて、今年は役員の改選期でありましたので、より身近なOB会となる様に大幅に役員を増やしました。

すなわち、各同好会の世話人から一名、深谷、岡部、熊谷地区に地域担当を作り、その方に役員として参加していただき総員二十六名と致しました。

これにより各同好会との連携、地域の会員とのよりよいコミュニケーションが計れると思います。

今後共OB会活動にご協力賜ります様お願い致すと共に、来年の総会にはさらに多くの会員の皆様のご参加をお待ち致します。



OB会総会に

参加させて頂いて

深谷工場長 上田 実

僅か三十分余りの時間でしたが、本当に懐かしい、楽しい時間を一緒に過ごさせて頂きました。

歴代工場長・諸先輩・皆様方のお元気なお声と現在の会社の厳しさに同情している優しいお気持ちに

接し、意を新たにすると同時に、今後もより一層のご指導とご鞭撻をお願い致します。

さて、会社は今迄遭遇した事のない厳しい経営環境下に置かれています。

取り分け、ブラウン管事業は売価低落と円高の二重苦で他業態以上に苦しい経営環境に陥っています。

汗水を流して製造原価を下げ、強い製造体質へ持つて行く事、これが一口で云った究極の目標ですが、中々、そうはた易く事は運びません。

正直云って顎が出そうですが、歯を食い縛り、一丸となって究極の目標を達成すべく努力しています。

関係する皆様方へも無理難題と思える様な事も、生き残りを賭けて云わせて頂いています。

工場に従事する我々の正念場が現況です。

冒頭にお願ひした諸先輩皆様方のお声掛けやご指導・ご鞭撻が最も強い心の糧となります。

これらをお願いし、一方では皆様方の尚一層のご健勝を祈念致しまして、筆を置かせて頂きます。今後共、宜しくお願い致します。

カラオケ同好会

菊地 正

カラオケグループに参加させて頂き、早くも三年有余が過ぎグループ内にも心溶け合い月一回のど自慢し、各自我れこそと、のどを振るわせて居ります。

楽譜や、符号など歌の基本も解らず、ただ唄ってるだけの私ですが、何事もそうですが真剣に取り組むと非常に難しいものです。

年を取るし、従って唄ってる過程に於いて、高い声が出なくなります。

また自分だけかと思うが覚えるまでは一生懸命唄い続けるし、声もある程度出るが、完全に覚え切ると反面声は出なくなり唄に感情も入らなくなるのが私の実感です。

正にこれが流行歌と言うものでしょうか？そう言う意味合いからか一流の歌手（北島、五木、森）の歌はあまり好まず、二流三流の歌手（三門、西方、藤原）の歌を好んで唄ってます。

演歌は日本独特の歌であり日本人にマッチする素晴らしいメロディーではないかと思っています。

しかし、最近演歌歌手の将来が極

めて危険になっているのは御承知の通りで、その証拠として日曜日NHKのど自慢を観て解るように出場者二十名中演歌を唄う人はせいぜい四・五人程度でしょう、困ったものです。

我々の年代は心配ないが永久に演歌の存在は繁栄してもらいたいものです。

そんな私達のカラオケ同好会が夏祭のガラクタ市を担当することになり、昔取ったきねづかで、会員のはつするぶりはまさに年輪は伊達ではありません。



夏まつり

チャリティービンゴ

石井 忠孝

七月十七日の東芝深谷夏まつりは、運良く雨の心配もなくなり賑やかだった。

恒例のOB会主催チャリティービンゴの今年は、草花盆栽会のメンバーが担当した。全員が黄色い帽子で先ず参加者募集から始めた。

ゲーム開始は、午後四時半と午後五時半の二回。会場はOB会休憩所後側の芝生。

ビンゴは誰でも楽しめる。特に子供連れに受けが良い。

提灯ゆれる夕暮れの会場は、やがて、リーチ！ビンゴ！元気な声の飛び交う微笑ましい雰囲気になっていった。

早い上がりには事務局提供の一寸良い品。参加賞には百円ショップ品を配った。収益金は一萬一千八百円。その一部が社会福祉へ寄付された。

参加料は一律百円としたが小さい子供達は五十円が参加しやすいなど、いろいろな感想が次の参考になればと思う。OB会のビンゴはこれで三回目、夏まつりの名物になればと期待する。

社交ダンス同好会が

いよいよ活動を始めました

田中 清隆

現在深谷市公民館活動の一環として、幡羅公民館利用団体認定を得て、幡羅公民館に於いて、今年四月から社交ダンスサークル活動をしています。

先生を含め男子九名、女子二二名、総員二二名、四〇才代、五〇才代、六〇才代の方々と、現役として勤めている方、地域の別なサークルで活動している方、団体及び生涯大学で活躍されている方等多才な方が多く話題も豊富です。

また二二名中、東芝関係者は九名（四組）が夫婦での参加です。練習日時は毎週月曜日午後七時です。最近では市内のダンスホールに思いっきりドレスアップして社交ダンスを楽しみ活力アップしています。

これはOB会事業方針「準会員の動員、地域の同好会との交流を図る」とも一致します。

深谷OB会員の社交ダンス愛好者と共に楽しめたく、「会員及び準会員皆様」のご参加をお待ちしています。

私の趣味

囲碁同好会 内野 和夫

私の趣味は旅行と読書と囲碁である。

特に旅行は動けるあいだにと七月四日アンコールワットに出掛けた。

ツアー全員四十名中には八十才でひとり参加の老人もいて驚いた。

幸い天気もよくカンボジアの印象は暑く疲れた。特にアンコールワットの遺跡巡りはよくあるく。

遺跡そのものは規模も大きくすばらしいが石段が高く狭いので一歩一歩慎重に行動するようだった。

またワットにかかる橋のたもとには手足を地雷で失った人がいて現実の厳しさをみせられた。

道も悪く五十年前の日本を思い出した。

アンコールワットの周辺はまだ田舎のため貧しい。

子供達も裸足が多く、平均四・五人の出生率とかでむやみと子供が多い。

子供と会つのも旅行の楽しみの

一つだ。

物価も安い一ドルで果物が一包み買えた。

ツアーの人との交流も楽しく、おばさんパワーが目立った。

私も負けずにまた何処かにと思つた。



将棋の魅力にひかれて

荒山 太郎

昭和五十年頃、将棋に熱中し将棋クラブへ通つた日が、遠く昔のように思われます。

いざ実戦になると中終盤に力を失って、負けることがあります。早指し将棋は、的確な直感が要求されスリルと醍醐味があります。

不利な形勢を逆転勝ちした時は、将棋の魅力にひきつけられます。

正月と夏休みは、家族が揃います。小学三年と四年の孫が盤上に駒を並べ、「おじいちゃん将棋やるつよ」と声をかけてくる。

いつのまにか将棋を覚えたようです。

私が「六枚落ちでやろうか」と言つと、「僕は普通（平手）でいいよ」と、言いながら将棋を通じて会話ができるようになり、嬉しく思っています。下手な川柳ができました。

「へボ将棋、孫とまごまご、良い絆」

OB将棋同好会に入会し二年半、月例会の時に皆さんと対局するのを楽しみにしています。

OBゴルフ同好会

コンペに参加し

岡部 奈良夫

第十四回OBゴルフ同好会コンペは、猛暑続きの中当日のみ曇の好天に恵まれ、お陰様で目一杯のハンデもあり初優勝出来ました。ゴルフを始めて二十年、この前十年振りにグリップを交換し、練

習せずにラウンドして酷いスコアになり、驚いて一度だけ練習場に行きました。普段は練習場に行つても上達する気がしないのでアプローチは庭で五米位をサンドで、バツティングは床の傾きに感心しながらカーペットの上で、退職時に記念品で頂いたクラシックウッドパターで、気が向いた時にやる程度の練習をしています。

ですからスコアは始めた頃から縮まらないが、小さなボールを何キ口も追いかけるのが楽しい事と、分かりました。

プレー後に脚がつつたり、翌々日からの筋肉痛で運動不足を思い知らされますが、歩けるうちは続けたいと思います。

懐かしい顔に会えます。ボールが前に行くようになったら、OBゴルフ同好会に入会しましょう。



甲州路に撮影



写真同好会 中山 朗

四月に春の撮影会を実施する事になって、深谷より秩父路を經由して、山梨県の一の宮に到着

良い天氣に恵まれて皆、三脚にカメラを据え付けて桃の花と、遠くに残雪の南アルプス連峰を入れて、構図の決め方、絞りの使い方、フィルター等を工夫して、良い作品が表現される様にお互いに頑張りました。

次に、恵林寺と、マンスワインの工場を見学して、再び深谷へ無事に着きました。

また六月には、従業員クラブにて作品の発表会を開き一人三点づつ二、三サイズに伸ばした写真を持ちより展示し、皆で良い点、反省点等を話し合い楽しく過す事が出来ました。

秋には、奥利根の紅葉峡へ紅葉の撮影に行く予定になっています。

今から技の出し方に、会員一同準備をしている所です。

久し振りのビデオ撮影

ビデオ同好会 小澤 正行



私がビデオカメラを初めて手にしたのは、今から二十年以上前です。

最初は家人の習いごとを撮るのが目的でした。

当時のカメラはβ方式のビデオカセットに直接記録するものでバッテリーを含めるとかなり重量もありました。

撮影は肩に担ぎながら行いましたが、まだオートクォーカスではなかったのでピント合わせに大変苦労したものです。

と言う訳でそのカメラはかなり前にお蔵入りにしたので、その後の撮影は中断しておりました。

しかし最近になって四人の孫達の記録や、海外旅行にも持って行

きたくなったため、デジタル方式で長時間使用できるカメラを入手しました。

実際に使ってみると画像の鮮明さに驚かされました。

なにしろふた昔前のカメラと比較しての事ですから、扱いも楽です。

これからは色々な撮影をしたいと思っています。

小旅行同好会（回顧報告）

世話人 大手 修作

平成五年のOB会総会で、各種同好会スタートの話があり、ときわクラブに、招集がかかり行つた所が、世話人をおおせつかつてしまった。

取り敢えず、発足を開こうと、同好の志に、連絡したところ、希望者三十名に対しクラブに集まったのは十名そこで年会費千円、旅費一万から二万と決まり、第一回は湯西川温泉、会費（旅費）一万円でスタートした。春秋一回のペースを守り今日にいたっている。

今まで十一回行つたうち行き帰りはマイカー三回、現地集合一回、旅館バス送迎付き七回、である。初回一万円会費で行つたので、泊まり送迎付きカラオケ付

宴会酒飲み放題年会費込みで最高一万四千円で行っているが、そろそろ値上げのことも考えたいと思っています。現在会員四十名です。入会希望者はどうぞ。

第五号発刊にあたって

編集委員 小林 哲嗣

OB会報五号が発刊されますが、それは多くの同好会の皆様方の投稿のお陰だと感謝しています。

私は東芝退職後、自分で趣味と実益を生かし、建築の仕事をやつて居ます。会社名はTHCソウケンと言います。その為に毎日が楽しく多くの人達と合う事が出来充実した日々です。OB会報は皆様の会報です。多くの方々の投稿でより楽しく明るい会報にすべくはりきっています。

又各同好会も会員の募集をやっています。お待ちして居ります。

連絡先 OB会事務局
電話番号

〇四八 五七四二二〇一四

編集委員

幹事 小沢 正行
" 小林 哲嗣